

一橋大学社会科学高等研究院 (HIAS)

# 医療政策・経済研究センター



高度な社会科学研究を通じた健康政策への貢献

## 医療政策・経済研究センターの設置

・人口の超高齢化に伴い社会保障費が膨張し続ける中、持続可能な医療制度の構築は、経済、財政、国民健康全体にまたがる喫緊の政策課題となっている。



一橋大学は、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決に、質の高い社会科学によって貢献するため、平成28年2月に一橋大学社会科学高等研究院（HIAS）のもとに「**医療政策・経済研究センター**」を設置。

# HIAS

## ■ 研究組織図



## 目的(Mission)

厳密な社会科学的研究を通じて、我が国および海外の社会保障（医療・介護）分野における政策課題の解決に貢献する。

## 目標(Vision)

「限られた医療資源」の効率的配分について、エビデンス（実態把握）とロジック（論理構築）に基づく政策意思決定(**E**vidence **B**ased **P**olicy **M**aking) のための提言を行う。

## 3つの事業

### 医療経済の高度研究

経済学、財政学、会計学、経営学、社会学など様々な社会科学の手法と知見を活用し、医療政策、医療経済学分野の高度研究を推進。

### 医療経済高度職業人の養成

医療にかかる社会科学の学問的知見を有し、幅広い観点で持続的な社会を展望できる、専門性の高い人材を育成。平成29年度には、一橋大学大学院経済学研究科の専門職業人養成プログラムとして、大学院修士課程の学生を対象とした「医療経済プログラム」を開講。平成30年度から、社会人を対象とした「社会連携プログラム」を実施予定。

### 研究・教育ネットワークの構築

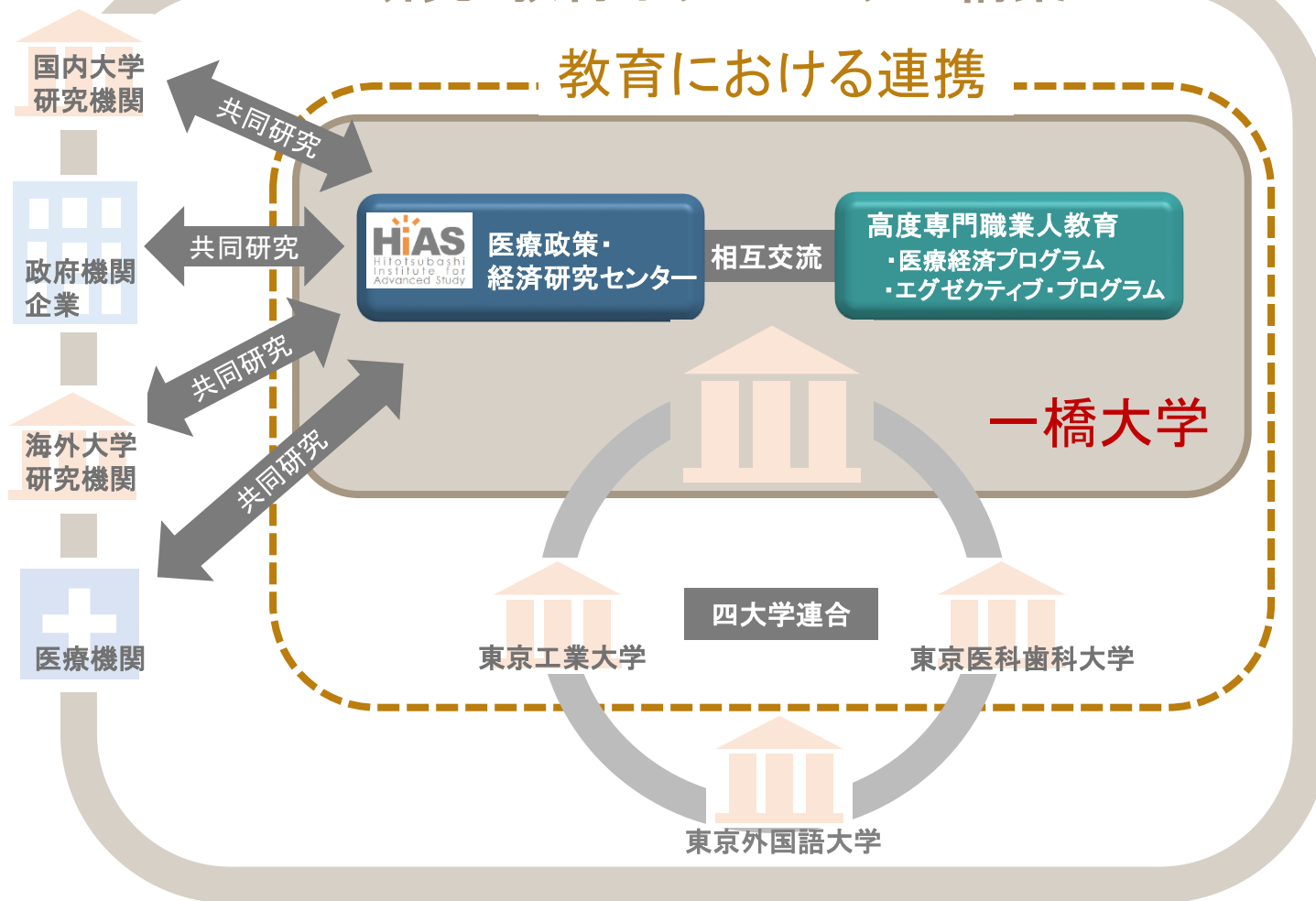
医学、薬学、工学などの分野の研究者や、医療・介護機関、政府機関、民間企業との連携を推進し、医療経済研究のネットワークを構築。





## 研究・教育ネットワークの構築

### 教育における連携



## センターの特徴

1. 学際的研究
2. 研究成果の政策形成への反映
3. 研究と教育の相互交流
4. 国際的な連携



## センターの特徴－1. 学際的研究

様々なバックグラウンドを持つ研究者が集結し、経済、財政、社会保障、会計、経営、法務などの広範な社会科学分野を横断する研究を推進。

また、医療の実務や医療工学に関する知識も不可欠であることから、東京医科歯科大学や東京工業大学など社会科学以外の分野の研究機関と連携。

## センターの特徴－2. 研究成果の政策形成への反映

センター研究員、センター客員研究員の多くが、学術的な研究に留まらず政府の各種委員会の委員等を務めるなど、研究成果を社会保障政策の形成に反映しています。

### センターの特徴－3. 研究と教育の相互交流

医療経済高度職業人の養成のための教育プログラムである「医療経済プログラム」および「エグゼクティブ・プログラム」に、センターの研究で得られた最新の知見を反映させる。

また、教育プログラムからのフィードバックを研究に活かす。

## センターの特徴－4. 国際的な連携

シンガポール経営大学（SMU）や英国York大学、フランスパリ第一大学などの海外の研究機関との研究交流。

国際協力機構（JICA）との共同研究を通じて、日本政府によるセネガル共和国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）支援の社会科学的評価研究を実施中。

アジアにおけるHTA機関のネットワーク「HTAsiaLink」に組織会員として参画。

## 主な研究トピック

医療の「費用対効果」分析

健康に係る消費者の行動分析

消費者パネルデータの分析による。

医療機関の財務諸表分析

IoTを活用した高齢者の見守り・生活支援

このテーマについては一橋大学が加盟、推進する国際的大学連携（SIGMA）の活動の一環として、2017年6月、シンガポール経営大学とウェブコンファレンスを実施。

Economic impacts of universal health insurance

セネガル共和国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジに関するJICAとの共同研究実施中。

etc.

## 勉強会

平成29年度には、二つのテーマについてセンター内部の勉強会を行う。

- ・ビッグデータの勉強会
- ・高齢者の見守り・生活支援の勉強会

8月22日（火）	第1回ビッグデータ勉強会 新谷隆彦准教授、電気通信大学大学院情報システム学研究科
9月20日（水）	国立研究開発法人産業技術総合研究所 臨海副都心センター見学会
11月29日（水）	第2回ビッグデータ勉強会 増原宏明准教授、信州大学経済学部



## 研究員

専属の研究員（准教授）1名・ポスドク研究員1名の他、商学研究科、経済学研究科、社会学研究科、経済研究所から研究者8名が参加。

他大学・他機関の10名の研究者が、客員研究員として参加。

これらの研究者は、学術的な研究に留まらず、政府の各種委員会の委員等を務めるなど、社会保障政策の形成に関わっている。



医療経済に関わる**研究ネットワーク**の構築・連携強化、および **evidence based policy making** の発展に貢献。

## 医療政策・経済研究センター研究員（一橋大学）

アルファベット順



荒井 耕  
商学研究科 教授



林 大樹  
社会学研究科  
特任教授



井伊 雅子  
経済学研究科 教授



加藤（山内） 珠比  
社会科学高等研究院  
特任助教



中村 良太  
社会科学高等研究院  
准教授



小塩 隆士  
経済研究所 教授



**センター長**  
佐藤 主光  
経済学研究科 教授



白瀬 由美香  
社会学研究科 教授



山重 慎二  
経済学研究科 教授



Ying Yao  
社会科学高等研究院  
特任助教 (PD)

## 医療政策・経済研究センター客員研究員

アルファベット順



五十嵐 中

東京大学大学院  
薬学系研究科 特任准教授



井深 陽子

慶應義塾大学  
経済学部 准教授



金子 能宏

日本社会事業大学  
社会福祉学部 教授



増原 宏明

信州大学  
経済学部 准教授



森山 美知子

広島大学大学院  
医歯薬保険学研究 教授



西村 周三

医療経済研究機構  
所長



阪口 博政

国際医療福祉大学大学院  
(医療経営管理分野) 講師



関本 美穂

大阪府済生会  
吹田病院麻酔科 医長



渡邊 亮

東京医科大学  
助教



湯田 道生

中京大学  
経済学部 准教授

## 研究活動

学術研究の公刊の他、政策フォーラム、国際シンポジウムを開催して、医療・介護、社会保障に係る喫緊の政策課題の提起・解決に向けた社会発信を広く行っている。

- ・定例研究会の開催 – 内外の研究者を招き定期的を開催
- ・一橋大学「政策フォーラム」
- ・医療経済シンポジウム
- ・医療経済ショートコース

## 研究活動：定例研究会－1

- ・第1回 (2016.6.1) 「Why does development make women thinner than men?」  
中村さやか 名古屋大学 経済学研究科 准教授
- ・第2回 (2016.6.13) 「医療のビックデータ分析：非実験データと誤差項」  
増原宏明 信州大学 経法学部 准教授
- ・第3回 (2016.7.27) 「医療・介護に関する研究会報告書（財務総合政策研究所）より」  
森山美知子 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 成人看護開発学 教授
- ・第4回 (2016.9.30) 「Impact of a 'choice architecture` on medical prescription in Japanese national health insurance system」  
中村良太 Research Fellow, Center for Health Economics, University of York, UK
- ・第5回 (2016.12.5) 「医療扶助制度と外来医療需給」  
湯田道生 中京大学経済学部 准教授
- ・第6回 (2017.2.14) 「Physical activity and health outcomes: Evidence from Canadian population surveys」  
Nazmi Sari Professor, Department of Economics, University of Saskatchewan, Canada



## 研究活動：定例研究会－ 2

- ・第7回 (2017.2.15)「医療と医療費の地域差－アメリカを中心とする研究サーベイ」  
西村周三 医療経済研究機構 所長
- ・第8回 (2017.2.23)「薬の費用対効果とは？－薬剤経済学の基礎－」  
五十嵐中 東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 特任准教授
- ・第9回 (2017.3.6)「Impact of Head Start Quality on Low Income Children in US」  
Kyunghee Lee Associate Professor, School of Social Work, Michigan State University, USA
- ・第10回 (2017.5.24)「Genes and entrepreneurship: a discovery in the world of behavior and biology」  
Roy Thurik エラスムス大学 教授／関西大学 経済・政治研究所
- ・第11回 (2017.6.28)「Price Offers of Pharmaceutical Procurement in China: Evidence from Guangdong Province」  
Ying Yao 一橋大学社会科学高等研究院 特任助教
- ・第12回 (2017.7.19)「医療機関における予算管理の実務動向」  
阪口 博政 国際医療福祉大学大学院 (医療経営管理分野) 講師



## 研究活動：定例研究会－3

- ・第13回 (2017.8.31) 「Will blockchain change healthcare? Use cases, time horizon, and current state of the technology」  
Alisa Dicaprio Research Fellow, Asian Development Bank Institute (ADBI)
- ・第14回 (2017.9.7) 「Interdependency in vaccination policies among Japanese municipalities」  
井深陽子 慶應義塾大学経済学部 准教授
- ・第15回 (2017.9.27) 「医療法人の事業報告書等を活用した「医療経済実態」把握の有用性—既存の公的類似調査の適切な補完—」  
荒井耕 一橋大学大学院商学研究科 教授
- ・第16回 (2017.10.16) 「Income Distribution and NCDs: Empirical Evidence from China. 」  
Dr. Guanghua Wan, Principal Economist, Asian Development Bank (ADB)
- ・第17回 (2017.10.25) 「日本の社会が直面する医療・介護・社会保障問題」  
新田國夫 医療法人社団つくし会新田クリニック理事長

## 研究活動：定例研究会－4

- ・第18回 (2017.11.13) 「No Health without HTA: a short story of HITAP in Thailand and beyond」  
Dr. Yot Teerawattananon, Founding Manager, Health Intervention and Technology Assessment Program (HITAP), Thailand
- ・第19回 (2017.12.6) 「質とコストから考える日本の外来診療」  
関本美穂 大阪府済生会吹田病院麻酔科 医長
- ・第20回 (2017.12.20) 「Accounting for equity in the assessment of fiscal policies for health」  
Dr. Andrew Mirelman, Research Fellow, Center for Health Economics, University of York, UK
- ・第21回 (2017.12.22) 「医療の行動経済学分析」  
大竹文雄、大阪大学 社会経済研究所 附属行動経済学研究センター、教授
- ・第22回 (2018.1.10) 「中高年者の健康に関するパネル分析：厚生労働省「中高年者縦断調査」を用いた研究例」  
小塩隆士、一橋大学経済研究所、教授
- ・第23回 (2018.2.6) 「Information quantity, disease risk, and technology adoption: experimental evidence from Burkina Faso」  
Prof. Josselin Thuilliez, Research Professor, CNRS, France

## 研究活動：定例研究会－5

- ・第24回 (2018.3.15) 「Agricultural input subsidies in sub-Saharan Africa - the case of Tanzania」  
加藤（山内）珠比、一橋大学社会科学高等研究院、特任助教  
(HIAS Health研究員)
- ・第25回 (2018.4.6) 「Comparing inequality and risk aversion in social welfare for health and income: an empirical analysis using hypothetical scenarios with losses」  
土屋有紀（つちや あき）、教授、School of Health and Related Research (SchARR) and Department of Economics、シェフィールド大学、英国
- ・第26回 (2018.4.13) 「Unintended Consequences: Program Evaluation and The World Bank Vs. Adult Literacy Programs and Child Mortality」  
Dr. Niels-Hugo Blunch, Associate Professor of Economics, Williams School of Commerce, Economics, and Politics, Washington and Lee University, USA

## Policy Forum

### 一橋大学政策フォーラム

Coming

2018年5月18日開催

医療法人の財務諸表データ、医療と介護に係る個票データ、中高年縦断調査データ、介護保険事業状況報告データ、消費者購買データ等を用いた研究成果を紹介し、喫緊の医療政策課題のあり方について提言を行う。

また、パネルディスカッションでは、持続可能な医療に向けたEBPM (Evidence Based Policy Making)のあり方について、会場の意見も頂きつつ議論する。



平成30年度 第1回 一橋大学政策フォーラム

# データから見る日本の医療

Evidence Based Policy Makingの観点から

講演者・パネリスト

				
<b>佐藤主光</b> 一橋大学 大学院 経済学研究科 教授 HIAS Health センター長	<b>荒井 耕</b> 一橋大学 大学院 経済学研究科 教授 HIAS Health 研究員	<b>井伊雅子</b> 一橋大学 大学院 経済学研究科 教授 HIAS Health 研究員	<b>金子能宏</b> 立正大学 経済学部 教授 HIAS Health 客員研究員	<b>中村良太</b> 一橋大学 大学院 経済学研究科 教授 HIAS Health 研究員

日時 平成30年 **5月18日** [金] 15:00 ~ (14:30 開場)

会場 **一橋講堂** 東京都千代田区一ツ橋 学術総合センター2階  
[アクセス] 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新大塚線「神保町」駅 (A8・AB 出口) 徒歩4分  
東京メトロ東西線「竹橋」駅 (1b出口) 徒歩4分

参加費 **無料** 申込申し込みが必要です。一橋大学  
申込締め切り 5月14日(月) 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

お申し込み      
申込締め切り 5月14日(月) <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/contact/>  
一橋大学 1-8-3 Hitotsubashi (Tokyo, Jpn)

**HiAS Health** 一橋大学社会科学高等研究院  
医療政策・経済研究センター  
Research Center for Health Policy and Economics  
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>



一橋大学  
HITOTSUBASHI UNIVERSITY



## Policy Forum

### 一橋大学「政策フォーラム」

2016年12月15日開催

医療システムの生産性を定量化する手法や、医療における費用対効果の考え方について解説、またパネルディスカッションでは、中長期的な観点から、我が国の医療制度改革の方向性について議論。

参加者 170名 (実績)



一橋大学  
政策フォーラム



# 医療を問う—— 費用対効果に拠る 政策への転換

2016年  
**12月15日** [木]  
16:00~ (受付開始15:30)

**会場** 大手町サンケイプラザ 301-302  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2  
Tel.03-3273-2230 <http://www.s-plaza.com>

**アクセス** 東京メトロ丸の内線・有楽町線・千代田線・東西線・都営三田線「大手町」駅下車A4-E1出口直結  
JR「東京」駅丸の内北口より徒歩7分

**主催** 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター

**参加費** 無料 (事前申し込みが必要です。申し込み切り 12月8日)

**お申し込み**  
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/event/forum/>  
※定員(100名)になり次第締め切ります。

**お問い合わせ**  
一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (担当 森)  
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/contact/>

**PROGRAM**

15:30 開場

16:00~16:20 学長挨拶 一橋大学長 藤沼 宏一

16:20~16:30 基調講演  
医療技術の経済評価——  
「費用対効果」を使った政策意思決定のあり方  
中村 良丈 一橋大学社会科学高等研究院 准教授

16:30~17:00 休憩

17:00~18:30 パネルディスカッション  
日本の医療システムのこれから——  
持続可能な制度設計に向けて  
(19分/人)

松山 幸弘 キヤノンコーポレート機構 研究工研  
井伊 雅子 一橋大学国際経済学研究所 教授  
小嶋 隆士 一橋大学経済学研究所 教授  
篠崎 良平 一橋大学社会科学学研究所 教授  
中村 良丈 一橋大学社会科学高等研究院 准教授  
コソビターナー  
佐藤 圭光 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター長  
一橋大学国際経済学研究所 教授

18:45~20:00 交流会

一橋大学社会科学高等研究院  
**医療政策・経済研究センター**  
Research Center for Health Policy and Economics  
URL: <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>



一橋大学社会科学高等研究院  
医療政策・経済研究センター  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2  
TEL: 03-3273-2230  
FAX: 03-3273-2231  
E-MAIL: [info@health-economics.hias.hit-u.ac.jp](mailto:info@health-economics.hias.hit-u.ac.jp)



一橋大学  
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

## International symposium 「一橋大学医療経済シンポジウム」

2017年4月26日開催

英国のNICE（The National Institute for Health and Care Excellence）において2004年以来、各種委員会の委員を歴任されてきた英国ヨーク大学医療経済研究所のマーク・スカルフアー教授を招き開催。

参加者 360名（実績）



# 一橋大学 医療経済シンポジウム

## 医療経済学と医療政策

日英同時  
通訳付き



**マーク・スカルフアー**  
Mark Sculpher  
英国ヨーク大学 医療経済研究所 所長



**伊藤 元重**  
Masahito Ito  
東京大学名誉教授  
一橋大学 社会科学部 教授



**西村 周三**  
Mitsuo Nishimura  
経済産業省 政策評価部長  
一橋大学名誉教授



**福田 敬**  
Tetsuo Fukuda  
独立行政法人 国立病院機構 理事長  
一橋大学名誉教授

2017年 **4/26** [水]

[シンポジウム] 13:30-17:30 (13:00開場) [講演会] 18:00-19:30

**一橋講堂** 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階  
[アクセス]  
東京メトロ千代田線、都営三田線、都営西有明線「神田駅」(A8-A9出口)徒歩4分  
東京メトロ東西線「竹橋」駅(1b出口)徒歩4分

参加費 **無料** (事前申し込みが必要ですが、申込費の切り 4月20日) 定員 **400名**

主催 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター 協賛 公益財団法人 二十一世紀化学産業財団

お申し込み [一橋大学 医療経済シンポジウム](http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/contact/) 検索 

申込締め切り 4月20日(木) 対象外になり次第の切りです。

お問い合わせ <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/contact/>  
一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (担当: 藤)

一橋大学社会科学高等研究院  
**医療政策・経済研究センター**  
Research Center for Health Policy and Economics  
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>



一橋大学社会科学高等研究院  
医療政策・経済研究センター  
Research Center for Health Policy and Economics



一橋大学  
Hitotsubashi University



## Short course for professional 「一橋大学医療経済ショートコース」

2017年4月27日開催

大学院生および医療経済に関心のある社会人の方々を対象とし、理論と実践的演習からなる費用対効果分析の1日コース。

受講者 67名



## 一橋大学 医療経済ショートコース

医療技術の経済評価——  
費用対効果  
分析を中心に

日英同時通訳付き

- 大学院生および医療経済に関心のある社会人の方々を対象とし、理論と実践的演習からなる費用対効果分析の1日コースです。
- 受講ご希望の方は、4月10日(月)までに、医療政策・経済研究センターのHPにある受講申込書をご提出下さい(Web申込)。
- 受講申込書に基づいて書類選考を行います。選考結果は、4月14日(金)までに申込者全員にお知らせします。



講師  
マーク・スカルパー  
Mark Sculpher  
英蘭ヨーク大学医療経済研究所  
教授

2017 **4/27** [木] 9:45-15:00

**会場** 大手町サンケイプラザ 3階 (311-312) **定額費** 2,000円(昼食、テキスト代含む)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2  
Tel.03-3273-2230 <http://www.s-plaza.com> **定員** 70名

**アクセス** 東京メトロ丸の内線・千代田線 千代田駅 東西線 都営三田線「大手町」駅下車A4-E1出口直結  
JR「東京」駅丸の内北口より徒歩7分 **主催** 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター  
**協賛** 公益財団法人 二十一世紀文化学術財団

一橋大学社会科学高等研究院  
医療政策・経済研究センター  
Research Center for Health Policy and Economics  
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

HIAS  
Hitotsubashi  
Institute for  
Advanced Study

一橋大学  
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

## Web conference 「SIGMA HITOTSUBASHI-SMU WEBINAR」

2017年5月19日開催

シンガポール経営大学（SMU）と一橋大学の2大学間で、下記の3つプロジェクト（センター）が参加し、各プロジェクト（センター）の紹介と、それぞれの研究報告を行った。

- ・医療政策・経済研究センター
- ・City Lab (SMU-Tara Consultancy Services' (TCS') Intelligent Cities Project)
- ・CREA (Centre for Research on the Economics of Ageing)



Centre for Research  
on the Economics of Ageing

AGEING AND HEALTHCARE ECONOMICS AND MANAGEMENT HITOTSUBASHI-SMU WEBINAR 19 MAY 2017		PROGRAMME
TIME (SGT)	TIME (JST)	
15:00 – 15:05	16:00 – 16:05	Opening
15:05 – 15:10	16:05 – 16:10	Introduction of CREA SMU by Professor Rhema Vaithianathan, Singapore Management University
15:10 – 15:40	16:10 – 16:40	Singapore Life Panel by Professor Rhema Vaithianatha, Singapore Management University
15:40 – 15:50	16:40 – 16:50	Introduction of Research Center for Health Policy and Economics by Professor Motohiro Sato, Hitotsubashi University
15:50 – 16:25	16:50 – 17:25	Promoting Mutual Support through a Preventive Long-term Care Program by Professor Yumika Shirase, Hitotsubashi University
16:25 – 16:35	17:25 – 17:35	Break
16:35 – 17:10	17:35 – 18:10	How to realize the Healthcare Policy in Japanese local community? by Professor Hiroki Hayashi, Hitotsubashi University
17:10 – 17:15	18:10 – 18:15	Introduction of iCity by Professor Tan Hwee Pink, Singapore Management University
17:15 – 17:45	18:15 – 18:45	IoT-Enabled Community Care for Sustainable Ageing-in-Place by Professor Tan Hwee Pink, Singapore Management University
17:45 – 18:00	18:45 – 19:00	Final Q&A

## Hitotsubashi University

## Health Economics International Workshop

## “Implementation of HTA in Japan and other Asian countries”

November 13, 2017



## Side Event of UHC Forum 2017

# “Strengthen Country Monitoring Systems of UHC SDG Indicators: A Case of Senegal and Global Practices”

Co-organize with

Japan International Cooperation Agency (JICA),  
Government of Senegal,  
World Bank,  
World Health Organization (WHO)

**UNIVERSAL HEALTH  
COVERAGE FORUM**

**12-15 DECEMBER 2017**

**TOKYO, JAPAN**

HOSTED BY

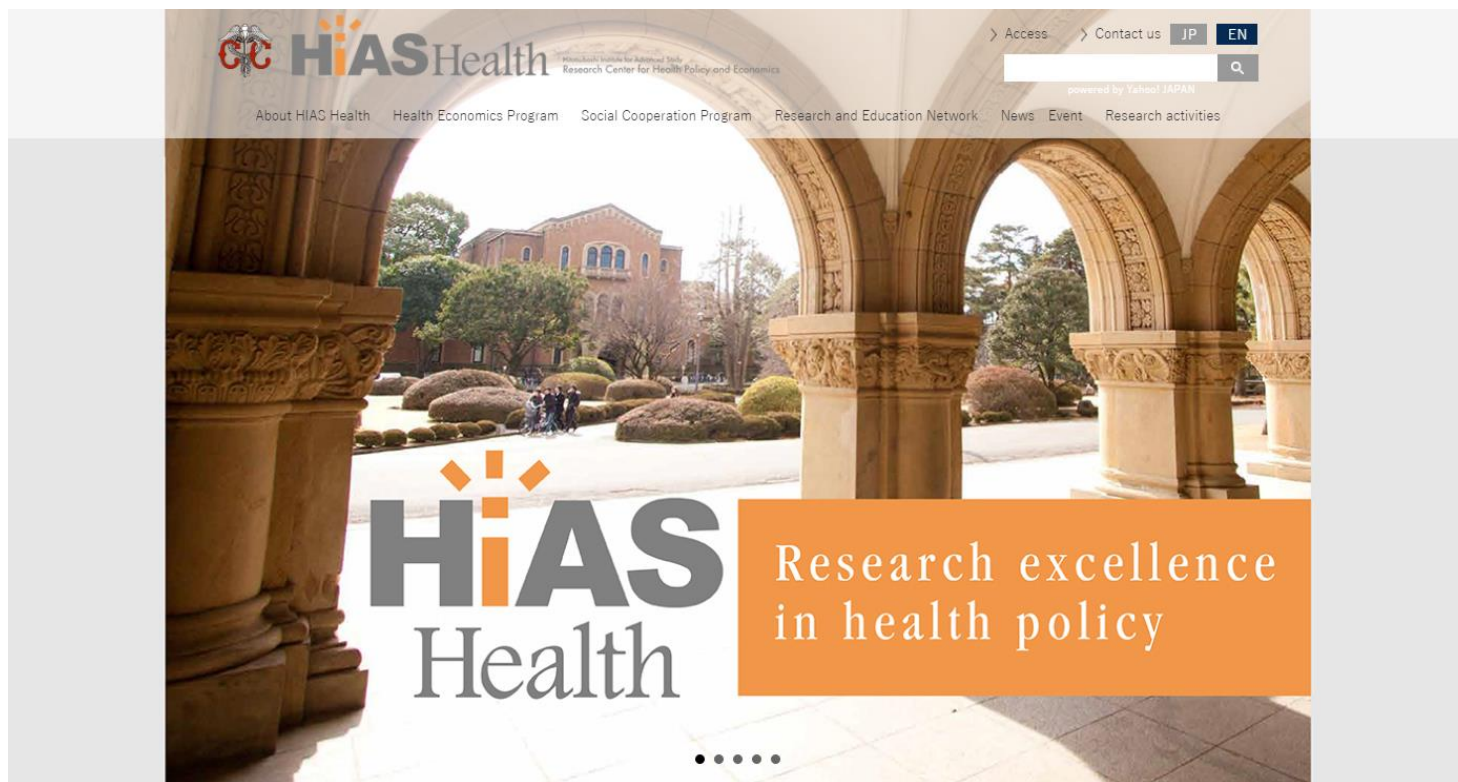
Government of Japan • World Bank • World Health Organization • UNICEF • UHC2030 • JICA



Venue: Tokyo Prince Hotel



## Webサイト



日本語サイト <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

英語サイト <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/english/>



一橋大学

HITOTSUBASHI UNIVERSITY